2019年12月21日

Audio Engineering Society

AES日本支部便り 2019年冬号

発行　一般社団法人 AES日本支部　〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-10
Tel: 050-5534-0993（留守番電話対応のみ）

① 支部長挨拶
② 2019年度 支部役員体制
③ 2019年度 事業計画
④ 基礎音響セミナー2019のご報告
⑤ 若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2019 レポート
⑥ 日本学生支部の活動について

支部長挨拶

AES日本支部 支部長　内村和嗣 (日本放送協会)

引き続き、2019年度もAES日本支部長を拝任いたしました、NHKの内村和嗣です。日頃より支部活動にご協力、ご賛同いただきまして誠にありがとうございます。

昨年度も、年間を通じて開催しております「日本支部例会」では、国内外からのプレゼンターによる多様なテーマを設け、毎回多くの方々にご参加いただきました。今年度も、東京以外での開催も含め、オーディオ技術の最新動向と情報交換の場として多彩な企画を考えております。

毎年ご好評をいただいております「基礎音響セミナー」では、記念すべき第10回目の開催をいたしました。本セミナーが音響関連行事として定着し、その必要性を確認させていただいた年となりました。これを励みとしてさらなる充実を図ります。

また、第3回を迎えました「若者・学生のためのAESジャパンフォーラム」には、天候の優れない中にも関わらず、昨年を上回る多くのご参加をいただき、成功裏に終えること

ができました。次世代を担う若手・学生と、音響に関わる企業との交流を支援することは、オーディオ業界の将来に繋がるAESの重要な活動のひとつです。参加された皆様、ご支持いただきました企業の皆様、誠にありがとうございました。

　AES本部や各国の支部から見ても、AES日本支部は年間を通じて活発な運営を行っている支部として認知されています。今年度の事業のひとつとしては、2021年2月に予定しておりますAES国際ゲーム・コンファレンスの東京での開催に向け準備を進めてまいります。

　AES日本支部は、お蔭をもちまして2019年7月1日より一般社団法人AES日本支部として運営を開始させていただいております。活動を円滑に進めるとともに、AESの基本理念であります、オーディオ工学やその関連分野における科学発展に寄与してまいりたいと思います。
　今後とも、AESそしてAES日本支部の活動にご理解とご協力をいただけますよう、宜しくお願いいたします。

2019年度 AES日本支部 運営委員体制

	2019年度（2019年９月〜2020年８月)	
	任期２年	任期１年
支部長		内村 和嗣
副支部長	星 和磨	
監事	亀川 徹	西村 明　　由雄 淳一
運営担当	高橋 宏幸　　菅野 重信	岡田 詞朗
例会担当	長江 和哉　　岸 智也 佐藤 えり沙	山崎 淳　　長渡 政文
会員担当	中川原 修　　山田 美慧	渡邊 祐子
会計担当	小谷野 進司	中原雅考
広報担当	染谷 和孝　　小野 一穂	三村 将之　　中澤 哲矢
教育担当	丸井 淳史　　喜多 真一	尾本 章　　河原 一彦
渉外担当	鈴木 弘明	
事務局長	見上 陽一郎	
事務局		永井 秀文

2019年度 事業計画

1. 会議

・定期総会、運営委員会、等

・2021年2月の国際ゲームコンファレンス開催に向けたローカル会議

2. 事業

・AES基礎音響セミナーの開催

・AESジャパンフォーラム開催

3. 支部体制の充実と効率化

・支部会員向けのサービスの拡充（ホームページ充実など）

・賛助企業向けサービスの拡充（フォーラムやイベント等との連携）

・新会員の獲得とアソシエイト会員からフルメンバー会員への促進

4. 会員情報の管理と会員への連絡

・本部データベースでの会員の活用体制の継続および推進

・WEBでの会員更新手続き対策と対応の充実

5. 例会

・見学会・講演会を主体として、計10回程度開催予定

・外部イベントとの連携も視野に入れ幅広い内容を図る

・地方開催の推進

6. 法人化

・一般社団法人移行後の運営体制の調整

7. 懇親会

・2回（2019年12月、2020年8月）

以上

基礎音響セミナー2019のご報告

教育担当運営委員　喜多 真一（ソニーPCL）

初回開催以来、毎回ご好評頂いておりました「AES基礎音響セミナー」も今回で10回目を迎えることができました。10周年となる今年も昨年と同じ日程の9月27、28日の2日間、東京藝術大学千住キャンパス（東京都足立区）で開催致しました。今回から申し込み方法や資料作成費、会場使用料の増加などにより資料代の設定を値上げさせていただいたにも関わらず、本当にたくさんの参加申込を頂き、多くの方にキャンセル待ちして頂くほどの好評となりました。さらに今年からは団体での申込割引を廃止致しましたが、多くの方にお問合せや参加申込みを頂きました事は大変有難く存じております。会場の都合上、どうしても人数の制限が昨年までと同じ人数になってしまった為、参加出来なかった皆様には心よりお詫び申し上げます。また賛助会員の企業様にも多くのご参加を頂きました。さらに賛助会員に関するお問合せも数多く頂き重ねてお礼申し上げます。参加されました皆様、そして講師の皆様をはじめ全てのご協力を頂いた方々に心からお礼を申し上げます。

講座内容は今年も盛り沢山で、基礎物理音響学からデバイスの在り方、室内音響学、最先端の信号処理研究に至るオーディオテクノロジーの「総合的セミナー」として、2日間計12講座を開催いたしました。また、10周年の「マスタークラス」では特別企画「立体音響の10年とこれから」と題しまして東京藝術大学の亀川徹教授、九州大学の尾本章教授、ソナ／オンフューチャー中原雅考氏による、立体音響の歩みと研究の成果や課題、業界のトレンドについてお話し頂き、22.2chでのデモ再生を体感頂く会となりました。

セミナー後には恒例となっている懇親会が開催され、受講された17名の方々と15名の講師及び運営スタッフが参加し、情報交換や有意義な交流と同時に親睦を深められておりました。2日間、業界の第一線で活躍されている講師陣の方々によるセミナーは、非常に有意義で知識・見識を広げる貴重な機会であったと思います。ご多忙の中、講師をお引き受け頂きました皆様、そして受講生の皆様、 また平素よりAES日本支部の活動にご理解を頂いております会員並びに賛助会員の皆様に重ねてお礼を申し上げます。今後とも引き続きのご理解とご協力をお願い致します。

なお、今回はAES会員優先申込期間を設けるなど会員向けサービスの向上を考慮しておりました。会員の方の参加者が29名、非会員24名、賛助会員様が7名、その内新規入会された方が一般・学生会員とで10名いらっしゃいました事を、合わせてご報告いたします。

＜AES基礎音響セミナー2019開催概要＞

日 時 : 2019年9月27日(金)、28日(土) 9:00-18:00
場 所 : 東京藝術大学千住キャンパス(東京都足立区千住1-25-1)

資料代：
【学生】会　員：　7,500円
【学生】非会員：13,000円
【一般】会　員：17,000円
【一般】非会員：40,000円

【オプション賛助会員】無料（1口につき1名）
【団体割引】今年度より廃止

懇親会参加費　:【学生】 2,500円 【一般】 5,000円

<セミナー概要>

【初級講座】

A1. 音の基礎	星和磨(日本大学)
A2. 聴覚と音知覚の基礎	西村明(東京情報大学)
A3. デジタル信号処理の基礎	渡邉祐子(東京電機大学)
A4. 電気音響の基礎	田村良隆(スタジオイクイプメント)

【中級講座】

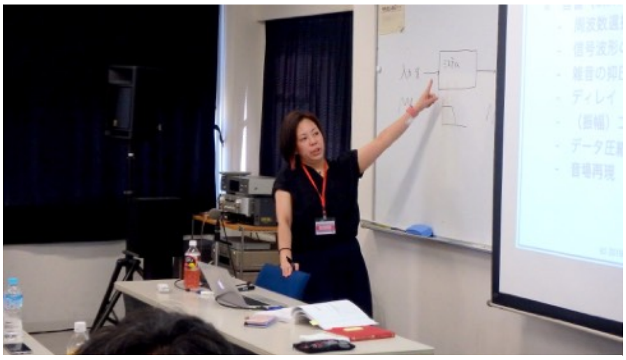
B1. 室内音響入門	中原雅考(ソナ/オンフューチャー)
B2. 音の心理評価入門	丸井淳史(東京藝術大学)
B3. 実用デジタルオーディオプロセッシング	鈴木久晴(エヴィクサー)
B4. スピーカ入門	小谷野進司(KOYANO Sound Lab.)
B5. マイクロホン入門	小野一穂(NHK放送技術研究所)
B6. ステレオ録音入門	亀川徹(東京藝術大学)

【特別講座】

C. 技術英語入門	鈴木弘明（MQA/ソナ）
M. マスタークラス 「立体音響の10年とこれから」	
	亀川徹(東京藝術大学)
	尾本章(九州大学)
	中原雅考(ソナ/オンフューチャー)

A1. 音の基礎
星和磨（日本大学）

A2. 聴覚と音知覚の基礎
西村明(東京情報大学)



A3. デジタル信号処理の基礎
渡邉祐子(東京電機大学)

A4. 電気音響の基礎
田村良隆(スタジオイクイプメント)

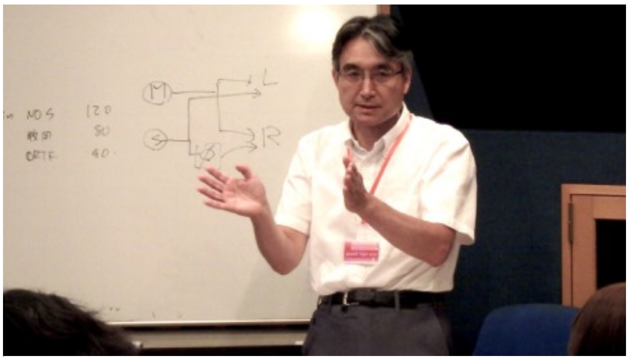
B1. 室内音響入門
中原雅考(ソナ/オンフューチャー)

B2. 音の心理評価入門
丸井淳史(東京藝術大学)

B3. 実用デジタルオーディオプロセッシング
鈴木久晴(エヴィクサー)

B4. スピーカー入門
小谷野進司(KOYANO Sound Lab.)

B5. マイクロホン入門
小野一穂(NHK放送技術研究所)



B6. ステレオ録音入門
亀川徹(東京藝術大学)

C. 技術英語入門
鈴木弘明(MQA/ソナ)

M. マスタークラス「立体音響の10年とこれから」　会場の様子

M. マスタークラス　22.2chスピーカー環境での再生

若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2019 レポート

ジャパンフォーラム事務局長　星和磨（日本大学）

今年で３回目となるAESジャパンフォーラムは、“音に興味のある若手・学生と音響業界で活躍するプロを繋ぐ”をテーマに、2019年11月23日（土・祝）日本大学理工学部の駿河台1号館で実施しました。AESジャパンフォーラムは、若手・学生のアピールの場であるポスター発表、音響業界の魅力を伝える業界セミナー、そして交流を深める懇親会の3部構成です。昨年度は参加者102名と大台を超えましたが、広く認知され安定して運営するにはまだまだほど遠いのが現状です。結果として今年は、今年は128名の参加、35件のポスター発表、5社による業界セミナー、約70名による懇親会を実施することができました。これもひとえにみなさまのご支援のたまものです。この場を借りて感謝申し上げます。

さて今年は、実施にあたり幾つかの試みを行いましたので、それらをご紹介いたします。

1. AES日本学生支部との連携

昨年度よりAES日本学生支部との運営を図っておりますが、今年は5月、10月と2回の事前ミーティングを行い、フォーラムの運営に参画してくださいました。AES日本学生支部の主な運営内容は以下の通りです。

- ジャパンフォーラム特設ホームページの開設・管理
- 参加バッジ（名札／記名式）の作成・印刷、フォルダの準備
- 配布プログラムの作成・印刷
- Twitter, FacebookなどSNSを通じた告知、宣伝
- ポスター会場の設営

設営・受付業務の様子
学生支部が積極的に運営に関わりました。

2. 参加費の無料化

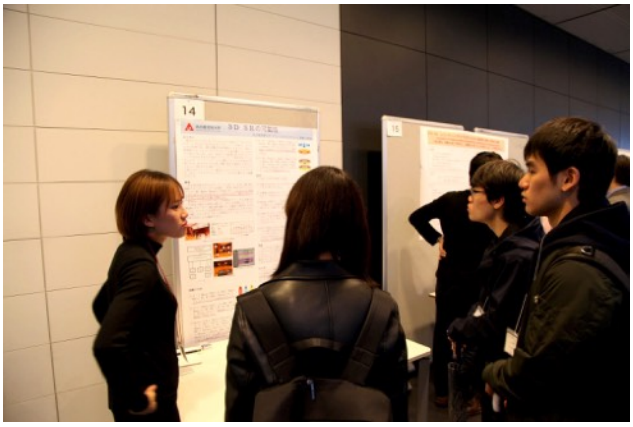
運営には会場設備費、印刷代などさまざまですが、これまでその一部を参加される方々に参加費としてご負担いただいておりました。これを減額するということは運営の圧迫に直結しますが、AESになじみの少ない若手・学生に参加してもらうことを狙い、思い切って「無料」としました。その結果ふらっと寄ってくれる方や、「Twitterをみて面白そうだったので来てみた」といってくれる方がいらっしゃいました。

3. ポスター発表登録（エントリー）料の設置、ポスター時間の延長

参加費を無料としましたが、全く収入がなければ立ち回れませんので、ポスター発表は

発表登録（エントリー）料2000円/件を設けました。ただし発表筆頭者は懇親会にご招待としました。これも発表してくれた意欲ある学生が、協賛していただいた企業のみなさまと交流を持ってほしいという願いからです。

その結果、ポスター発表は35件集まりました。この数は昨年度24件より、11件の増となり、一昨年度の36件に迫る数です。内訳を見ると、日本大学11件、東京芸術大学11件と約1/3ずつがこの2校で占めています。ニューフェースとしては、首都大学東京より3件の発表がありました。「エルフはどう聞こえているのか？」など興味深いタイトルを掲げ、多く参加者の目を引いていました。また、今年はポスター時間を60分×2から80分×2と、40分延長しました。間延びしてしまうことが懸念されましたが、そのようなこともなくじっくりと議論できたようです。



ポスター発表の様子
今年は時間を多く取ったためか、若手・学生同士で議論をする様子が多く見られました。

4. ポスター発表前の協賛企業紹介／業界セミナー

昨年度まで、集まった若手・学生への情報を発信できる機会は業界セミナーのみとしておりましたが、今年は、開会式直後に1社2分の協賛企業紹介の時間を設けました。これは、ポスター発表会場で、協賛ブースを設けておりますので、ポスター発表の時間内に是非協賛ブースにも立ち寄っていただきたいという思いからです。

また、今年の業界セミナーは、ゼニマックス・アジア(株)（Tango Gameworks)、(株)コルグ、任天堂(株)、(株)スクウェア・エニックス、ヤマハ(株)の5社に実施頂きました。15分と短い時間のなか、工夫を凝らしたプレゼンテーションで業界の仕事内容とその魅力が学生に伝わったことと思います。Inter-BEEとの開催も近いため、セミナーを開催したいが準備がなかなか難しいとのご意見も頂いております。来年度は開催日のお知らせをなるべく早くさせて頂きます。

5. 懇親会費の設置

参加費の無料化に伴い、社会人4000円、学生2000円の懇親会費を設置しました。ポスター発表をされた35名の方は前述の通りご招待です。その結果約70名にご参加いただきました。司会を学生支部が務めたこともあり、食事を囲み和やかに有意義な意見交換ができました。

業界セミナー後に行われた日本学生支部による活動報告（左）と懇親会（右）の様子

　このように今年は、いくつかの新たな試みをおこないましたが、結果として大きなトラブルもなく、多くの人に参加していただくことができました。ただし、まだまだ多く問題と改善点があるのも事実です。日本支部役員、日本学生支部の学生で運営しておりますが、永続的に実施するためには、賛同頂ける企業様、そして御協力頂けるAES会員に学生支部会員の参画が不可欠とも感じております。来年度以降は、これまで以上にいろいろな場面で広報や告知をさせて頂きますので、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

日本学生支部の活動について

AES日本学生支部 支部長　長島千尋（東京藝術大学）

5月には、アイルランドのダブリンで開催されたコンベンションに学生支部メンバーも参加いたしました。ポスターセッションでは、日本学生支部メンバーも自身の研究についての発表を行いました。他にも学生向けのレコーディングクリティクスに応募し、プロのエンジニアから作品についての講評を受けた学生もいました。AESに参加する世界各国の学生がそれぞれの学校や研究内容の紹介を行い、音響を学ぶ学生同士の積極的な交流が行われました。

6月には、東京藝術大学千住キャンパスにて、AES日本学生支部の活動報告会を実施しました。10名程度の学生に参加いただき、5月のAESコンベンション(ダブリン)の報告やAES日本学生支部の活動内容の紹介、そして今後の活動に関しての座談会が行われました。AES日本学生支部の活動をより盛り上げるべく、AESやAES学生支部の活動内容についての説明も行いました。

11月には、日本大学にて若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2019を開催しました。今年は悪天候にもかかわらず128人の方にご参加いただき、例年以上の盛り上がりを見せました。若手・学生参加者がそれぞれの研究や制作、日頃の取り組みについてプレゼンテーションを行いました。音響についてあらゆる研究領域の発表が行われ、学生同士の活発な意見交換が行われました。また、研究者や業界関係者の方々からも発表についてのフィードバックを受けることができ、非常に実りある時間となりました。業界セミナーでは、様々な音響関連企業の紹介をしていただきました。音響業界の入り口として業務内容や音響業界の魅力などについて、将来を考える学生向けにお話しいただきました。音響に興味を持つ若手・学生が、学生同士、また業界の方々とコミュニケーションできる貴重な機会となりました。